



国立科学博物館人類研究部の研究員を筆頭とする国内7研究機関11名からなる共同研究グループは、北海道礼文島の船泊遺跡から出土した約3800年前の縄文人の全ゲノムを高精度で明らかにしました。これにより、船泊遺跡出土の縄文人がエスキモーなどと同じく高脂肪食の代謝に有利な遺伝的変異を持つことや、現代の狩猟採集民と似た集団の遺伝的特徴を持つことなどが明らかになりました。

また現代の東アジアの広い地域の沿岸部周辺の集団と縄文人とのあいだに遺伝的親和性があることも示され、

## 礼文島の船泊遺跡から出土した 約3800年前の縄文人

# 『北海道縄文人全ゲノム完全解読』

縄文人はおよそ3万8千年から1万6千年前に大陸の集団から分離したことも明らかになりました。今回縄文人のゲノムを完全に解読したことで、今後の古代日本人DNA研究は大きく進展することが期待されます。

なお、この研究成果は、5月13日に記者発表され、新聞、テレビ等で大きく取り上げられました。

概要について、「NEWS展示」でご紹介します。

令和元年

6/29(土) → 7/21(日)

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝祭日の場合は火曜日）

国立科学博物館 [東京・上野公園]

日本館2階回廊

開館時間

午前9時～午後5時

金・土曜日は午後8時まで

※入館は各閉館時刻の30分前まで

入場料

常設展示入場料のみでご覧いただけます。

常設展示入館料

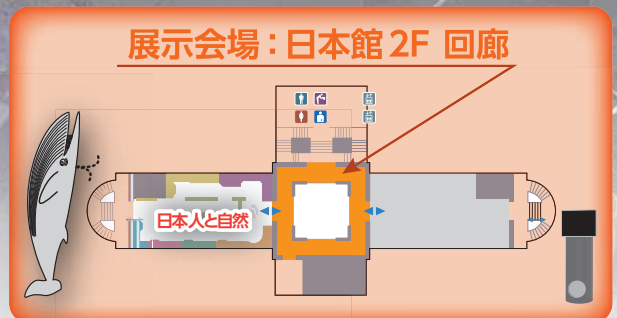
一般・大学生 620円(団体500円)

高校生以下および65歳以上無料

※団体は20名以上

〈主催〉国立科学博物館

上野公園



JR 上野駅



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science